



おはようございます

日本共産党
市議会議員

いぬいえりです



2025年9月23日 NO.47

9月議会 市長「全ての市民がそれぞれの個性や国籍等の違いによる不当な差別や偏見をうけることなく」

7月の参議院選挙では外国人差別を助長しかねない言説が広まりました。事実に基づかない外国人優遇などの言葉は、言葉の暴力であり、差別をあおる行為です。こうしたものが102年前の関東大震災時の朝鮮人虐殺などにつながったこと、それは戦争と地続きであったことを、私たちは決して忘れてはならないし、許してはならないとの思いで、質問をしました。

流山市は「多様性を尊重する社会の推進に関する条例」を制定しています。また7月24日には全国知事会が「排他主義・排外主義を否定し、多文化共生を目指す」という宣言を採択しました。流山市が推進する多様性を尊重する社会とはどういうものか、市長の見解をききました。

市長答弁より抜粋

「令和7年8月1日現在、市内には442人、総人口の約2%の外国人の方が暮らししており、その人数は年々増加しています。」

本市では、令和5年第1回定例会において、全会一致で可決された

「流山市多様性を

尊重する社会の推進に関する条例」に基づき、全ての市民がそれぞれの個性や国籍等の違いによる不当な差別や偏見を受けることなく、誰もが多様な生き方を選択でき、その力をいかに発揮して、地域社会の一員として暮らすことができる社会の形成をすすめているところです。

令和7年7月の全国知事会における青森宣言の多文化共生社会とも方向性は同じです。」



南流山に市内3つ目の広場型地域子育て支援拠点「ことこと」オープン場所は流山街道沿いの南流山8丁目、木交差点の近くです。2023年の市議選の時に、南流山の公園でうかがった願いが実現して嬉しいです。スタッフの方から、「自分の子育てのとき仲間と始めたサークルからNPOになって、20年かかりました！」というお話をうかがいました。



